

答申のアウトライン案

委員作成

白井市特別職報酬に関する諮問への答申

白井市特別職報酬等審議会

2022年9月XX日

1

1. 白井市特別職報酬に関する諮問への答申の順序について

- 令和4年3月18日に白井市特別職報酬に関する諮問を受けた。
- 白井市議会議員の報酬については、『特別職報酬等審議会への諮問について（依頼）』（白議第252号 令和3年10月25日）に記載の通り、「今後、議員のなり手不足が想定されるところであり、令和5年の改選に合わせて議員報酬を増額する方向で検討」することが望ましいと考えた。
- ついては、被選資格保持者が「議員報酬の改訂」を認知したうえで、立候補について十分に検討できるよう、白井市議会議員の報酬への答申を先行する。（別紙1「議員報酬の改訂」に関する今後のスケジュールについて）
- 尚、その他の白井市特別職の報酬については、本答申後、速やかに検討し答申する。

2

2. 白井市議会の議員報酬の増額について

- 『特別職報酬等審議会への諮問について（依頼）』（白議第252号 令和3年10月25日）に記載の通り、「今後、議員のなり手不足が想定されるところであり、令和5年の改選に合わせて議員報酬を増額する」ことが望ましいと考える。
- 事実、世帯収入が白井市議会の議員報酬を超える世帯は全体の50%程度もあり、議員報酬だけで考えた場合に、議員のなり手が少ないと考える。（別紙2 白井市の世帯年数別の世帯数）
- ただし、『白井市議会議員定数並びに議員報酬調査会報告』（2022年11月18日）の添付資料『報告分科会報告』のP7に記載の通り、議会費の割合は1%程度が妥当と考えられ、この値を議員報酬を増額することによって上昇させることに対して、市民の理解を得ることは難しいと考える。（別紙3 類似団体、及び鎌ヶ谷と印西市の議会費の割合）
- 一方で、白井市における人口1万人に対する議員の割合は、地理的特徴が類似し、かつ白井市に隣接する鎌ヶ谷市や印西市と比較すると、1.5倍程度多い（白井市3.3人、鎌ヶ谷市2.2人、印西市2.0人）。この点を見直すことなく、議員報酬を増額することに対して、市民の理解を得ることは難しいと考える。（別紙4 人口1万人に対する議員の割合－白井市、鎌ヶ谷市、印西市）

3

3. 白井市議会の議員報酬に関する答申

- 1万人当たりの議員数が2.0～2.2人程度になるように、白井市議会の議員数を14程度に削減した上で、議員報酬を1.5倍程度に増額することを提案する。
- ただし、急激な議員定数の削減は既存の議員への影響が大きいことから、激変緩和措置として、下表のとおり、段階的に議員数を削減することを提案する。

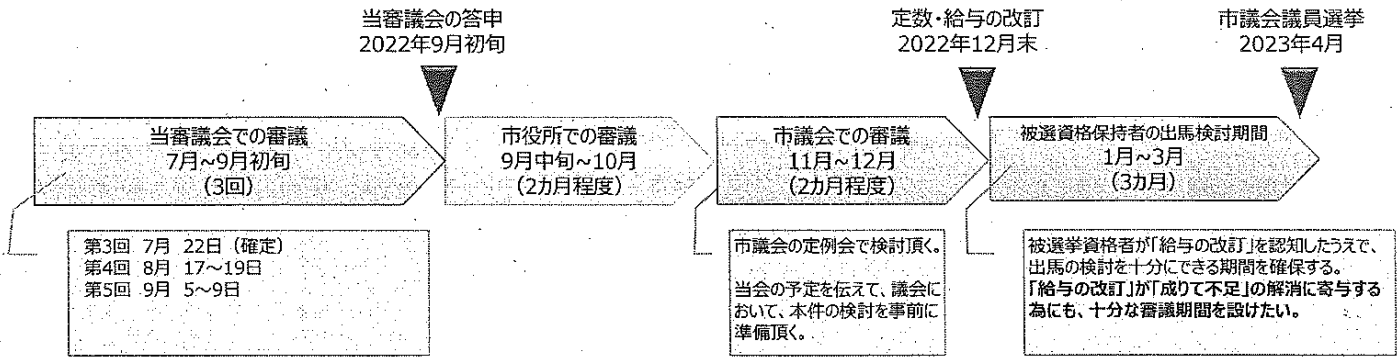
	議員定数 (人)	議員報酬 (千円/年)	議会費の割合※ (%)
現状	21	5,118	1.0
2023年4月 市議会議員選挙	18	5,971	1.0
2027年4月 市議会議員選挙	14	7,677	1.0

※ 白井市の支出額が現状と同程度で推移すると想定。

4

別紙1 「議員報酬の改訂」に関する今後のスケジュールについて

- 次回の白井市議会議員選挙は2023年4月に予定されています。
- 被選資格保持者が「議員報酬の改訂」を認知したうえで、立候補について十分に検討できる（5カ月程）ことが望ましいと考えます。
- 市議会での審議期間（2カ月程度）を考慮すると、2022年9月初旬に「議員報酬の改訂」に関して答申した方が良いと考えます。
- ついては、7月～9月初旬にかけて、審議会を3回程実施することをご検討頂きたいと思っております。



5

別紙2 白井市の世帯年数別の世帯数

世帯年収	世帯数	割合	割合(累計)
300万円未満			
300～500万円			

6

別紙3 類似団体、及び鎌ヶ谷と印西市の議会費の割合

■ 類似団体

銚子市			
...			

■ 隣接市

鎌ヶ谷市	
印西市	

別紙4 人口1万人に対する議員の割合—白井市、鎌ヶ谷市、印西市

■